

OUVC1 号投資事業有限責任組合が 株式会社エスケーフラインへの投資を実行

2018 年 12 月 3 日

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社(以下「OUVC」)(本社:大阪府吹田市、代表取締役社長:神保敏明)を無限責任組合員とする、OUVC1号投資事業有限責任組合(以下「OUVC1号ファンド」)は、11月27日付で、株式会社エスケーフライン(以下「エスケーフライン」)(本社:滋賀県草津市、代表取締役社長:藤井裕仁)に対し、7,800万円の投資を実行いたしました。

エスケーフラインは調達した資金でセラミックス 3D プリンターに関連する開発設備投資および研究開発を加速させて、新規市場開拓を目指します。

・エスケーフラインの成り立ちと大阪大学との関係

エスケーフラインは株式会社写真化学(以下「写真化学」)(本社:京都府京都市、代表取締役会長兼社長:石田敬輔)と大阪大学接合科学研究科 桐原聡秀教授との共同研究成果を基に設立されたカーブアウト型ベンチャーです。上記研究成果はセラミックスを造形材料に用いた3Dプリンターに関するもので、本研究成果を対象として写真化学と大阪大学が共同で特許出願を行っており、本特許をエスケーフラインが活用することによって、競争優位性のある事業展開が可能となります。

・エスケーフラインの事業内容

エスケーフラインはセラミックス3Dプリンターに関連する B to B 事業を推進しています。具体的には、3Dプリンターを用いた部品の製造事業、3Dプリンターの企画・販売事業、3Dプリンター向けの材料販売事業を展開いたします。

エスケーフラインが本事業で活用するコア技術は、「材料処方技術」・「材料攪拌技術」・「精密描画技術」の3つの要素技術から構成されております。これらを高度に複合化させることで、従来技術では困難だったセラミックス3D造形品の微細化と高強度化の両立が可能となる点において競争優位性が高く、新規市場開拓への大きな期待が持てるものと考えています。

対象市場としては、市場が十分に顕在化している電子部品分野から参入を行い、将来的には医療分野へ展開することで事業拡大を目指します。その他、自動車分野、インフラ分野などにも顧客ニーズに合わせた事業展開を行なう予定です。

・エスケーフラインへの投資意義

エスケーフラインは、日本発のモノづくりのプラットフォーム技術の確立を目指しています。同社の事業は、多様化するモノづくりのニーズに対して、多品種少量生産を可能とするものであり、高い将来性が期待されます。

加えて、「企業」×「大学」で培われてきた研究成果の社会還元をカーブアウト型ベンチャーとして実現することで、大学発ベンチャーの新たなモデルケースの確立へ向けて、OUVC が投資を行う社会的意義は大きいものと判断いたしました。

なお、OUVC は取締役を派遣し、ハンズオン支援を行いません。

・エスケーフラインの概要

会社設立	2018 年 10 月 17 日
事業内容	セラミックス 3D プリンターの関連事業
所在地	滋賀県草津市野路東 7 丁目 2 番 10 号
代表取締役社長	藤井 裕仁(ふじい ゆうじ)
URL	https://www.sk-fine.co.jp/

以上

【お問い合わせ先】

大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社（広報担当:経営企画部）

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンス棟4階

TEL : 06-6879-4982 FAX : 06-6105-5210 E-mail : info@ouvc.co.jp